

小田原市民の健康状態 II

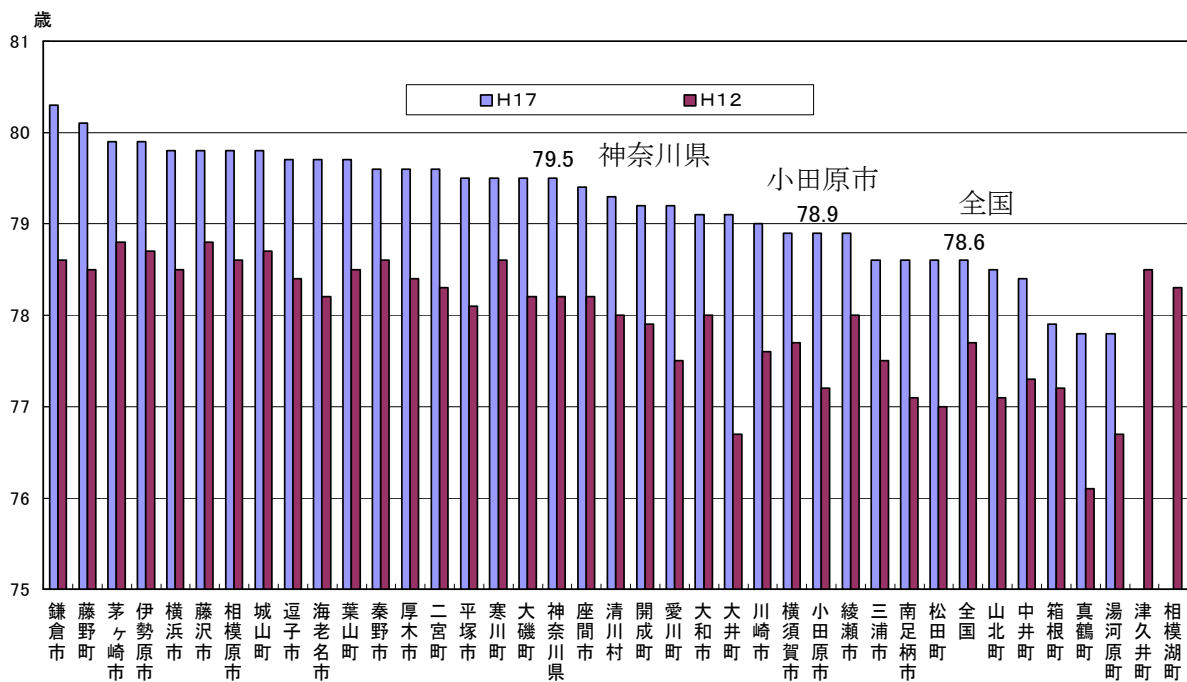
平成 24 年 2 月

<目次>

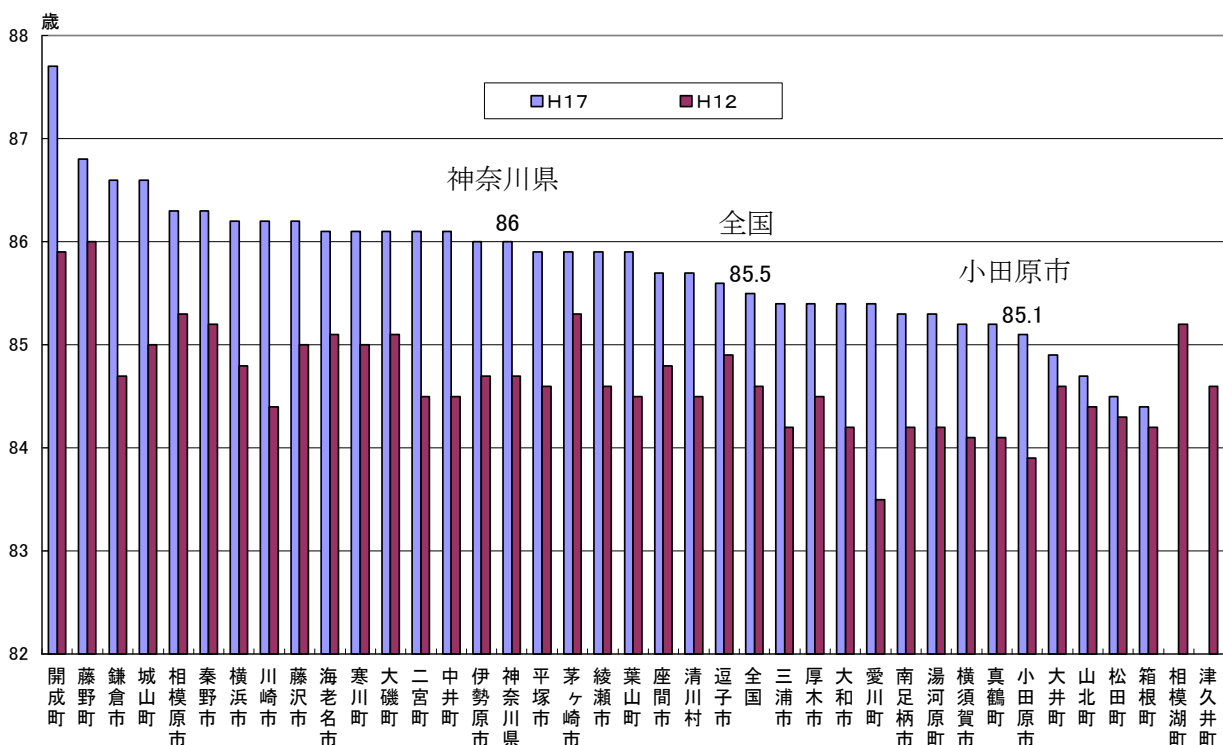
| | |
|------------------------------------|-----------|
| 1 平均寿命について | 1 |
| 2 死亡率等について | |
| (1) 死亡率の推移 | 2 |
| (2) 死亡率の県内一覧 | 3 |
| (3) 高齢化率の県内一覧 | 3 |
| (4) 年齢調整死亡率について | 4 |
| 3 死因の内訳について | |
| (1) 平成 21 年小田原市の死因割合 | 5 |
| (2) 平成 21 年死因割合の本市と県・国との比較表 | 5 |
| (3) 死因別の死亡率(人口 10 万対)の推移 | 5 |
| ア 悪性新生物 | 6 |
| イ 脳血管疾患 | 8 |
| ウ 心疾患 | 11 |
| エ その他の疾患 | 13 |
| 4 まとめ | 17 |

1 平均寿命について

(1) 男性



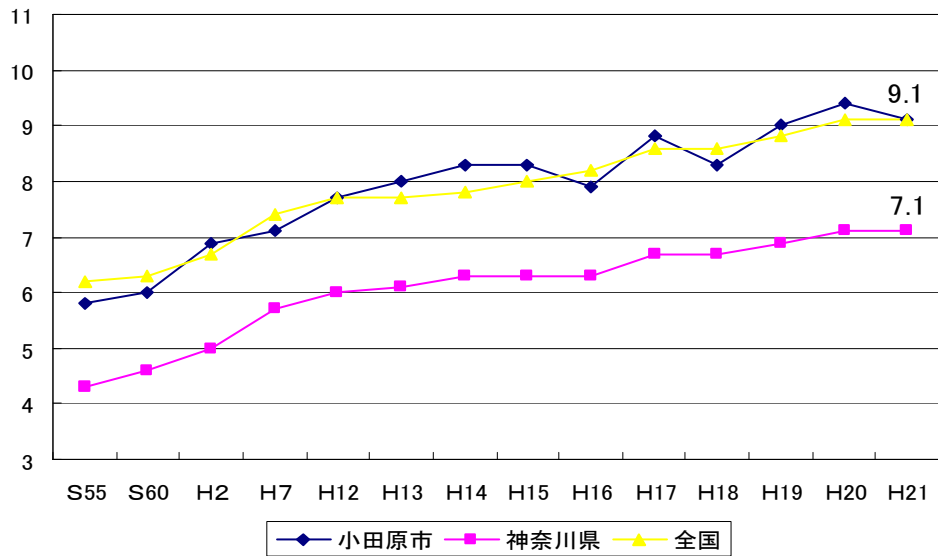
(2) 女性



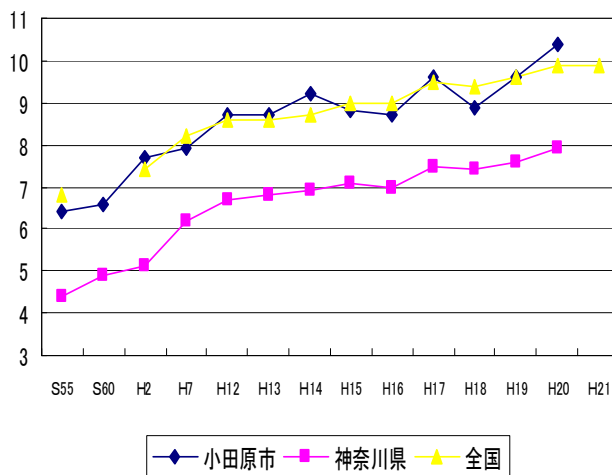
日本人の平均寿命は、最近はやや緩やかに延びており、平成17年は男性78.6歳、女性85.5歳です。小田原市も完全生命表で、平成17年は、男性、78.9歳、女性は85.1歳となっておりますが、男性が全国の平均寿命より高く、女性が低くなっています。また、神奈川県内の35市町の中では、男性は26位、女性は31位です。(順位は平成17年比較値)

2 死亡率等について

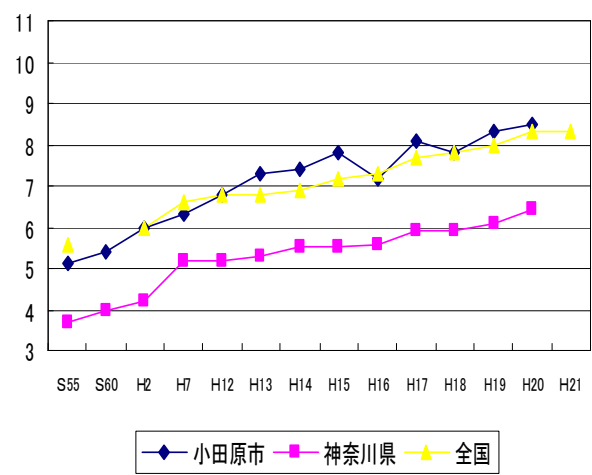
(1) 死亡率¹⁾の推移



男性



女性



小田原市の平成 21 年の死亡率は、9.1 で、全国と同じで、神奈川県の 7.1 より高い状態にあります。昭和 55 年からの推移を見ますと、緩やかな上昇傾向を示し、全国と同じような推移をしています。

¹⁾ 死亡率は、10 月 1 日からの 1 年間に於ける人口 1000 人あたりの死亡者数

(2) 死亡率の県内一覧

| | 15年 | 16年 | 17年 | 18年 | 19年 | 20年 | 21年 |
|------|-----|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 三浦市 | 9.6 | 三浦市 9.3 | 三浦市 10.9 | 逗子市 10.2 | 三浦市 11.0 | 三浦市 12.0 | 三浦市 10.4 |
| 鎌倉市 | 8.7 | 逗子市 9.2 | 逗子市 10.3 | 三浦市 10.1 | 逗子市 9.5 | 鎌倉市 9.7 | 逗子市 9.7 |
| 横須賀市 | 8.5 | 鎌倉市 8.7 | 小田原市 8.8 | 横須賀市 9.0 | 横須賀市 9.0 | 横須賀市 9.6 | 鎌倉市 9.3 |
| 小田原市 | 8.3 | 横須賀市 8.4 | 横須賀市 8.8 | 鎌倉市 8.7 | 小田原市 9.0 | 南足柄市 9.6 | 横須賀市 9.3 |
| 逗子市 | 8.3 | 小田原市 7.9 | 鎌倉市 8.7 | 小田原市 8.3 | 鎌倉市 9.0 | 逗子市 9.5 | 小田原市 9.1 |
| 南足柄市 | 7.7 | 南足柄市 7.8 | 南足柄市 7.9 | 南足柄市 8.1 | 南足柄市 7.8 | 小田原市 9.4 | 南足柄市 8.0 |
| 平塚市 | 6.6 | 茅ヶ崎市 6.6 | 平塚市 7.3 | 平塚市 7.1 | 平塚市 7.3 | 平塚市 7.6 | 平塚市 7.9 |
| 茅ヶ崎市 | 6.4 | 平塚市 6.5 | 茅ヶ崎市 7.2 | 茅ヶ崎市 7.1 | 茅ヶ崎市 6.9 | 茅ヶ崎市 7.2 | 茅ヶ崎市 7.3 |
| 藤沢市 | 6.2 | 藤沢市 6.1 | 秦野市 6.6 | 藤沢市 6.6 | 秦野市 6.7 | 綾瀬市 7.0 | 秦野市 6.9 |
| 秦野市 | 5.9 | 伊勢原市 5.9 | 藤沢市 6.5 | 大和市 6.3 | 藤沢市 6.6 | 藤沢市 7.0 | 大和市 6.7 |
| 伊勢原市 | 5.7 | 大和市 5.7 | 大和市 6.4 | 秦野市 6.2 | 大和市 6.6 | 秦野市 6.8 | 藤沢市 6.7 |
| 川崎市 | 5.7 | 川崎市 5.7 | 綾瀬市 6.2 | 伊勢原市 6.2 | 綾瀬市 6.6 | 大和市 6.5 | 伊勢原市 6.6 |
| 大和市 | 5.7 | 秦野市 5.7 | 川崎市 6.1 | 川崎市 6.0 | 相模原市 6.2 | 伊勢原市 6.5 | 座間市 6.5 |
| 厚木市 | 5.5 | 座間市 5.6 | 伊勢原市 6.0 | 綾瀬市 5.9 | 厚木市 6.2 | 座間市 6.3 | 綾瀬市 6.5 |
| 綾瀬市 | 5.4 | 相模原市 5.5 | 厚木市 5.8 | 座間市 5.8 | 座間市 6.2 | 相模原市 6.3 | 相模原市 6.3 |
| 座間市 | 5.2 | 綾瀬市 5.5 | 座間市 5.6 | 相模原市 5.7 | 川崎市 6.1 | 川崎市 6.2 | 川崎市 6.2 |
| 相模原市 | 5.2 | 厚木市 5.3 | 相模原市 5.5 | 厚木市 5.7 | 伊勢原市 5.9 | 厚木市 6.2 | 海老名市 6.1 |
| 海老名市 | 4.9 | 海老名市 5.3 | 海老名市 5.2 | 海老名市 5.4 | 海老名市 5.4 | 海老名市 5.8 | 厚木市 6.1 |
| 神奈川県 | 6.3 | 神奈川県 6.3 | 神奈川県 6.7 | 神奈川県 6.7 | 神奈川県 6.9 | 神奈川県 7.1 | 神奈川県 7.1 |

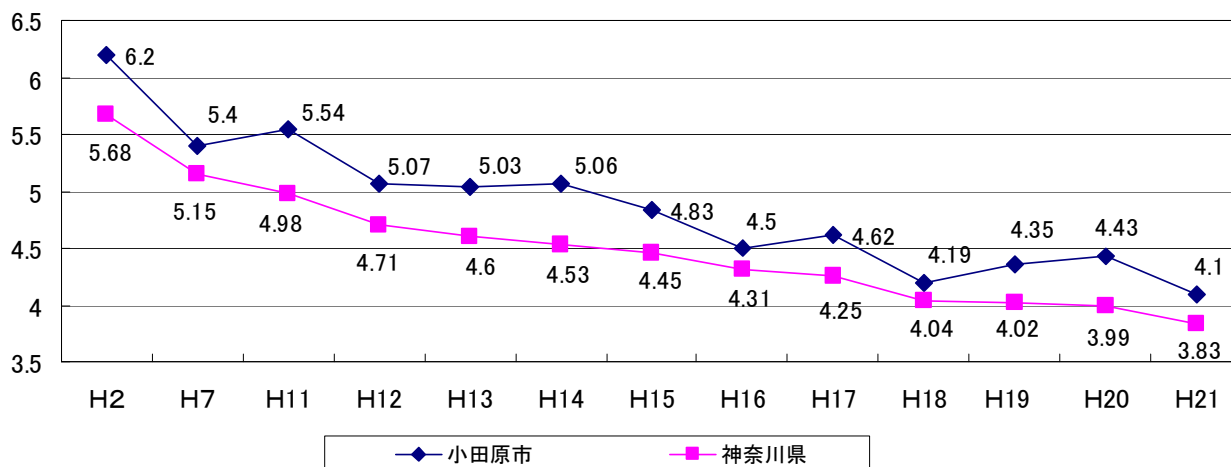
(3) 高齢化率²⁾の県内一覧

| | 15年 | 16年 | 17年 | 18年 | 19年 | 20年 | 21年 |
|------|------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 逗子市 | 23.3 | 逗子市 23.9 | 逗子市 24.4 | 逗子市 25.3 | 逗子市 26.0 | 逗子市 26.6 | 三浦市 27.6 |
| 鎌倉市 | 22.9 | 鎌倉市 23.3 | 鎌倉市 23.8 | 鎌倉市 24.6 | 鎌倉市 25.3 | 三浦市 26.5 | 逗子市 27.5 |
| 三浦市 | 21.3 | 三浦市 22.3 | 三浦市 23.2 | 三浦市 24.0 | 三浦市 25.2 | 鎌倉市 26.0 | 鎌倉市 26.7 |
| 横須賀市 | 18.9 | 横須賀市 19.5 | 横須賀市 20.2 | 横須賀市 21.2 | 横須賀市 22.2 | 横須賀市 23.1 | 相模原市 26.3 |
| 小田原市 | 18.2 | 小田原市 18.8 | 小田原市 19.4 | 南足柄市 20.2 | 南足柄市 21.1 | 南足柄市 22.0 | 横須賀市 24.0 |
| 南足柄市 | 17.7 | 南足柄市 18.4 | 南足柄市 19.1 | 小田原市 20.1 | 小田原市 20.9 | 小田原市 21.6 | 南足柄市 23.0 |
| 茅ヶ崎市 | 16.4 | 茅ヶ崎市 16.9 | 茅ヶ崎市 17.4 | 茅ヶ崎市 18.4 | 茅ヶ崎市 19.3 | 茅ヶ崎市 20.0 | 小田原市 22.4 |
| 平塚市 | 15.6 | 平塚市 16.1 | 平塚市 16.7 | 平塚市 17.8 | 平塚市 18.6 | 平塚市 19.6 | 茅ヶ崎市 20.7 |
| 横浜市 | 15.3 | 横浜市 15.7 | 横浜市 16.3 | 横浜市 17.0 | 横浜市 17.7 | 横浜市 18.4 | 平塚市 20.5 |
| 藤沢市 | 15.0 | 藤沢市 15.5 | 藤沢市 16.0 | 藤沢市 16.7 | 藤沢市 17.4 | 藤沢市 18.1 | 綾瀬市 19.1 |
| 秦野市 | 13.9 | 秦野市 14.5 | 秦野市 15.1 | 秦野市 15.9 | 秦野市 16.8 | 綾瀬市 18.0 | 横浜市 19.1 |
| 川崎市 | 13.4 | 伊勢原市 14.0 | 伊勢原市 14.6 | 大和市 15.5 | 綾瀬市 16.8 | 秦野市 17.8 | 秦野市 18.8 |
| 伊勢原市 | 13.4 | 川崎市 13.8 | 大和市 14.4 | 綾瀬市 15.5 | 座間市 16.6 | 座間市 17.6 | 藤沢市 18.8 |
| 大和市 | 13.1 | 大和市 13.7 | 綾瀬市 14.3 | 伊勢原市 15.5 | 大和市 16.4 | 大和市 17.4 | 座間市 18.6 |
| 相模原市 | 12.6 | 綾瀬市 13.4 | 川崎市 14.2 | 座間市 15.4 | 伊勢原市 16.3 | 伊勢原市 17.2 | 大和市 18.3 |
| 綾瀬市 | 12.5 | 相模原市 13.2 | 座間市 13.9 | 相模原市 14.8 | 相模原市 16.0 | 相模原市 17.1 | 伊勢原市 18.2 |
| 座間市 | 12.4 | 座間市 13.2 | 相模原市 13.9 | 川崎市 14.8 | 海老名市 15.4 | 海老名市 16.3 | 海老名市 17.3 |
| 海老名市 | 12.2 | 海老名市 12.8 | 海老名市 13.4 | 海老名市 14.4 | 川崎市 15.3 | 厚木市 15.7 | 厚木市 16.6 |
| 厚木市 | 11.7 | 厚木市 12.2 | 厚木市 12.9 | 厚木市 13.9 | 厚木市 14.8 | 川崎市 15.7 | 川崎市 16.1 |
| 神奈川県 | 15.1 | 神奈川県 15.7 | 神奈川県 16.2 | 神奈川県 17.0 | 神奈川県 17.8 | 神奈川県 18.5 | 神奈川県 19.2 |

小田原市の死亡率を、県内 19 市と比較すると、高齢化率が高い市が上位を占め、小田原市は過去 7 年 5 位前後の位置にいます。

²⁾ 高齢化率は、65 歳以上人口が総人口に占める割合

(4) 年齢調整死亡率³⁾について



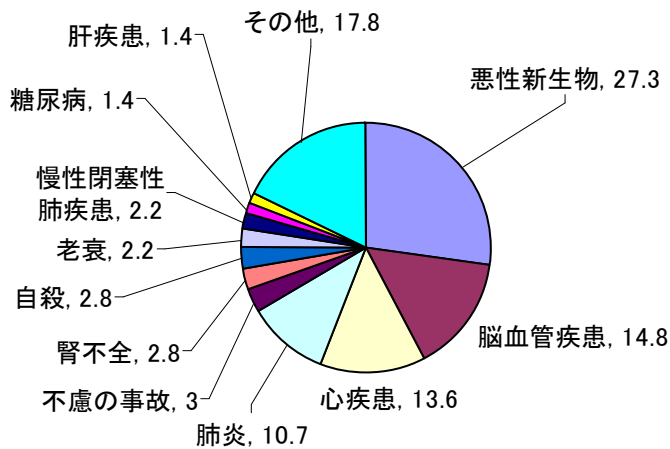
| | 15年 | 16年 | 17年 | 18年 | 19年 | 20年 | 21年 |
|------|-----|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 小田原市 | 5.1 | 横須賀市 4.9 | 横須賀市 4.6 | 三浦市 4.9 | 三浦市 4.6 | 三浦市 4.4 | 綾瀬市 4.2 |
| 横須賀市 | 4.9 | 三浦市 4.8 | 座間市 4.6 | 大和市 4.7 | 横須賀市 4.4 | 綾瀬市 4.4 | 小田原市 4.1 |
| 大和市 | 4.8 | 小田原市 4.8 | 南足柄市 4.6 | 小田原市 4.6 | 南足柄市 4.4 | 小田原市 4.4 | 大和市 4.0 |
| 三浦市 | 4.8 | 厚木市 4.8 | 小田原市 4.5 | 綾瀬市 4.6 | 大和市 4.3 | 大和市 4.3 | 横須賀市 4.0 |
| 厚木市 | 4.8 | 南足柄市 4.7 | 大和市 4.4 | 厚木市 4.5 | 小田原市 4.2 | 厚木市 4.3 | 平塚市 4.0 |
| 綾瀬市 | 4.7 | 大和市 4.7 | 三浦市 4.4 | 横須賀市 4.4 | 平塚市 4.2 | 横須賀市 4.2 | 三浦市 4.0 |
| 南足柄市 | 4.7 | 綾瀬市 4.6 | 相模原市 4.4 | 平塚市 4.4 | 厚木市 4.1 | 平塚市 4.1 | 座間市 3.9 |
| 伊勢原市 | 4.6 | 座間市 4.5 | 厚木市 4.4 | 秦野市 4.3 | 逗子市 4.1 | 相模原市 4.1 | 厚木市 3.9 |
| 逗子市 | 4.6 | 平塚市 4.4 | 海老名市 4.3 | 南足柄市 4.2 | 綾瀬市 4.1 | 座間市 4.0 | 海老名市 3.8 |
| 平塚市 | 4.6 | 相模原市 4.4 | 綾瀬市 4.3 | 逗子市 4.2 | 座間市 4.1 | 秦野市 4.0 | 相模原市 3.8 |
| 藤沢市 | 4.4 | 藤沢市 4.3 | 伊勢原市 4.3 | 座間市 4.2 | 茅ヶ崎市 4.0 | 藤沢市 3.9 | 秦野市 3.7 |
| 座間市 | 4.4 | 伊勢原市 4.3 | 平塚市 4.2 | 茅ヶ崎市 4.2 | 相模原市 4.0 | 茅ヶ崎市 3.8 | 伊勢原市 3.7 |
| 相模原市 | 4.3 | 秦野市 4.2 | 茅ヶ崎市 4.2 | 伊勢原市 4.1 | 藤沢市 3.9 | 南足柄市 3.7 | 藤沢市 3.7 |
| 茅ヶ崎市 | 4.3 | 茅ヶ崎市 4.2 | 藤沢市 4.1 | 藤沢市 4.1 | 伊勢原市 3.9 | 伊勢原市 3.7 | 南足柄市 3.7 |
| 秦野市 | 4.3 | 海老名市 4.1 | 逗子市 4.0 | 相模原市 4.1 | 秦野市 3.9 | 海老名市 3.7 | 茅ヶ崎市 3.6 |
| 海老名市 | 4.2 | 鎌倉市 4.1 | 鎌倉市 4.0 | 海老名市 3.9 | 海老名市 3.8 | 逗子市 3.6 | 逗子市 3.4 |
| 鎌倉市 | 4.1 | 逗子市 3.8 | 秦野市 3.9 | 鎌倉市 3.7 | 鎌倉市 3.5 | 鎌倉市 3.4 | 鎌倉市 3.3 |
| 神奈川県 | 4.5 | 神奈川県 4.5 | 神奈川県 4.3 | 神奈川県 4.3 | 神奈川県 4.0 | 神奈川県 4.0 | 神奈川県 3.8 |

高齢化率の要因を除外した年齢調整死亡率の年次推移をみると小田原市は、県と同じように年々低下していますが、県内19市と比較すると、過去10年1位～5位と高い位置にいます。

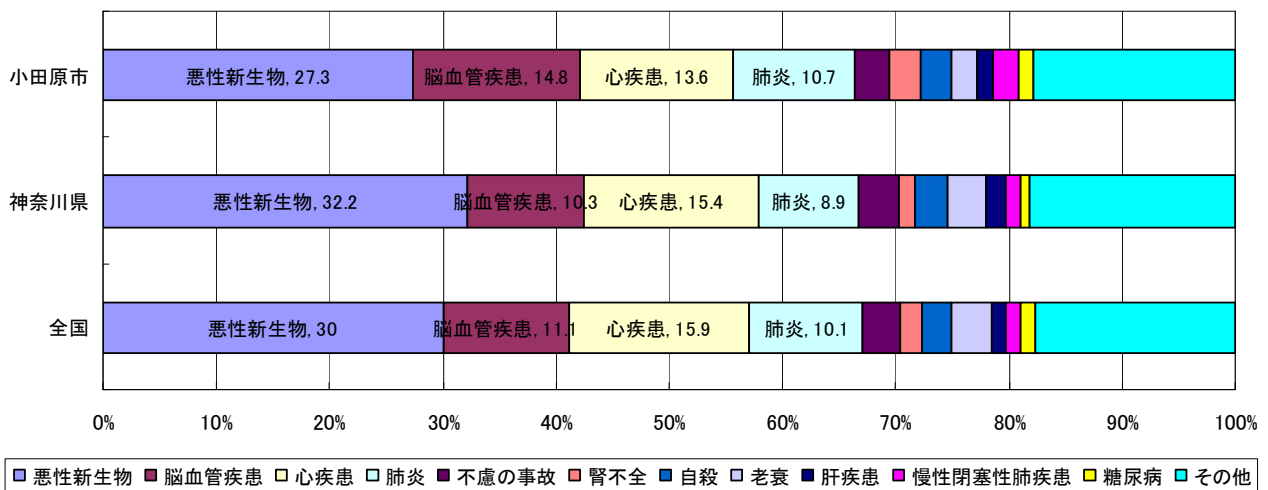
³⁾ 年齢調整死亡率とは、基準となる人口の年齢構成を考慮して補正した死亡率で、年齢構成の著しく異なる群間の比較を可能にする値である

3 死因の内訳について

(1) 平成 21 年小田原市の死因割合



(2) 平成 21 年死因割合の本市と県・国との比較表



小田原市の死因は、1位悪性新生物、2位脳血管疾患、3位心疾患、4位肺炎、5位不慮の事故、6位腎不全・自殺、8位老衰、9位慢性閉塞性肺疾患、10位糖尿病・肝疾患です。

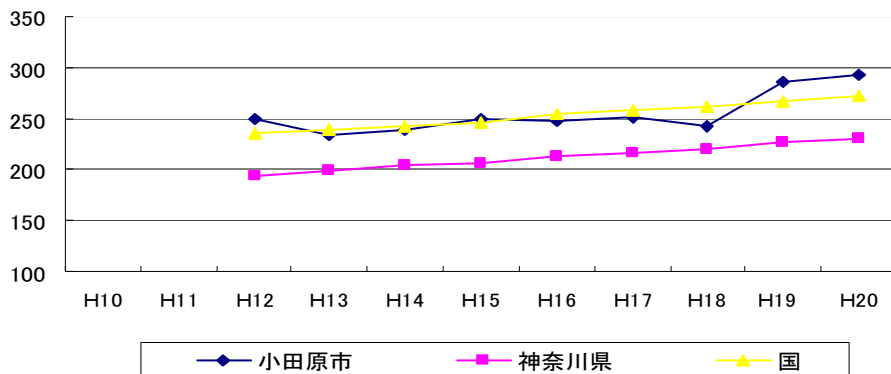
全国・神奈川県は2位が心疾患、3位が脳血管疾患、5位が老衰で、小田原市と、全国・県と比べると、死因に相違があります。

また、小田原市の3大死因の死亡総数に対する割合は、悪性新生物 27.3%、脳血管疾患 14.8%、心疾患 13.6%の合計 55.7%となり、国の 57.0%より低いです。なお、全国、県と比較すると、脳血管疾患、腎不全、慢性閉塞性肺疾患、糖尿病は、割合が高く、老衰、自殺は低い割合です。

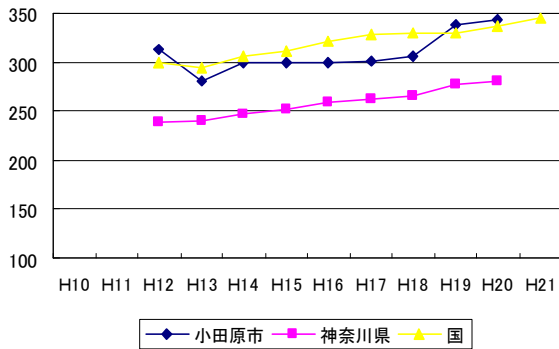
(3) 死因別の死亡率（人口10万対）の推移

ア 悪性新生物

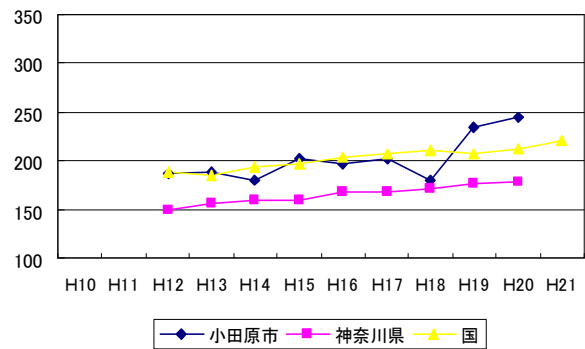
① 悪性新生物死亡率



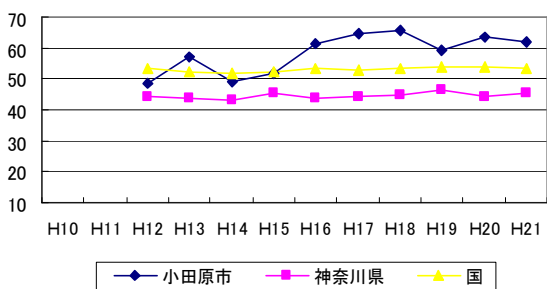
② 悪性新生物死亡率(男)



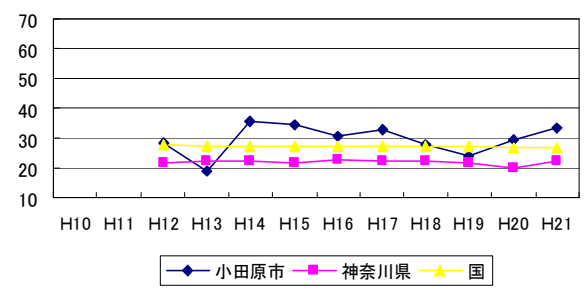
③ 悪性新生物死亡率(女)



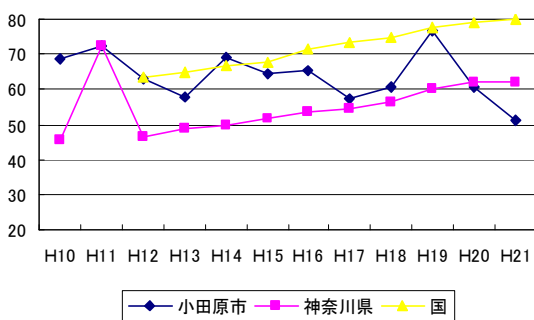
④ 胃がん死亡率(男)



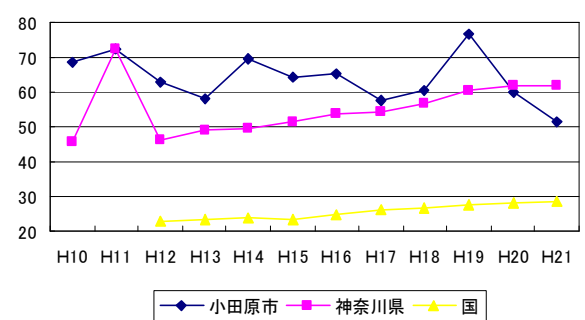
⑤ 胃がん死亡率(女)



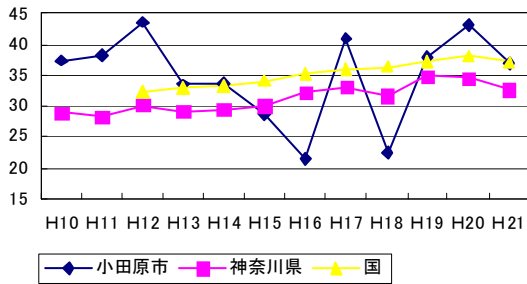
⑥ 肺がん死亡率(男)



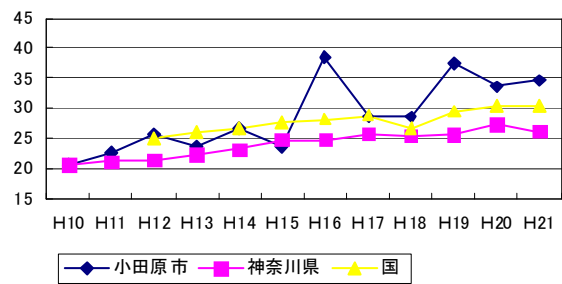
⑦ 肺がん死亡率(女)



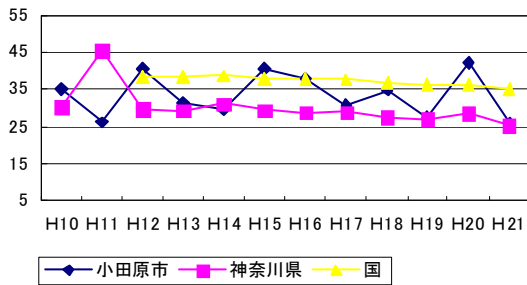
⑧ 大腸がん死亡率(男)



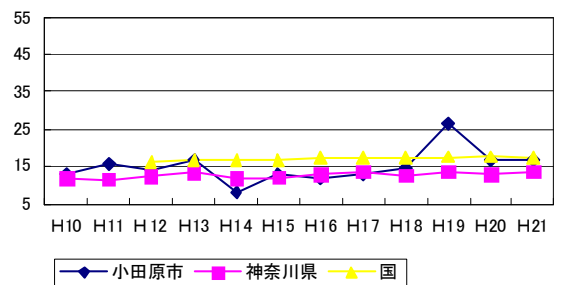
⑨ 大腸がん死亡率(女)



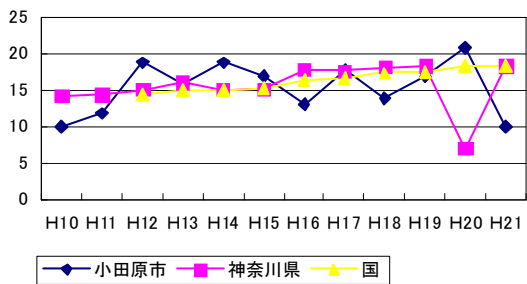
⑩ 肝臓がん死亡率(男)



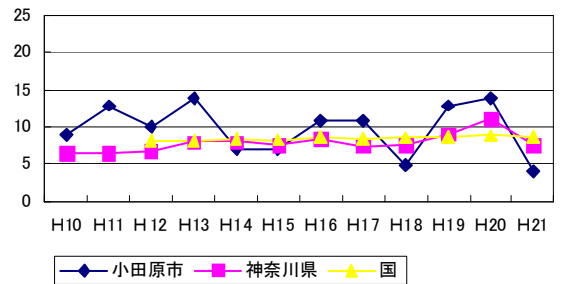
⑪ 肝臓がん死亡率(女)



⑫ 乳がん死亡率(女)



⑬ 子宮がん死亡率(女)



悪性新生物の死亡率は、一貫して増加傾向を示し、小田原市も同じような状況が続いています。しかし、死亡総数に対する割合は、27.3%で全国の30.1%と比べると低いです。

部位別の死亡状況を全国、県と比較すると、男性の胃がん死亡率は全国・県に比べ15年から高く推移しています。女性の場合も、ややばらつきはありますが、高く推移しています。

肺がんの死亡率は、男性の場合、全国より低く推移していますが、女性は、全国より明らかに高い状態で推移しています。

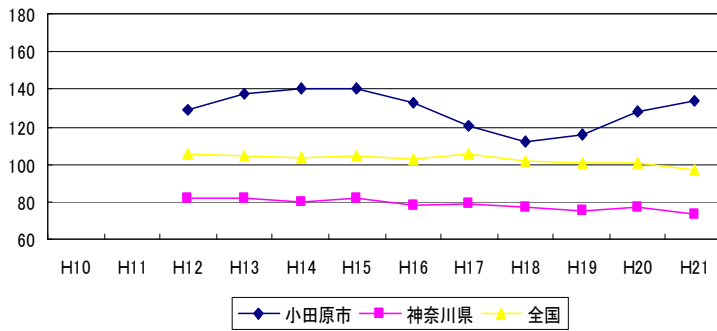
大腸がんについては、男性はばらつきがあり判断が難しいです。女性の場合、平成10年頃は同程度でしたが、少しずつ上昇傾向になっており、全国、県より高い状態にあります。

肝臓がんは、全体にばらつきがありますが、低めに推移しています。

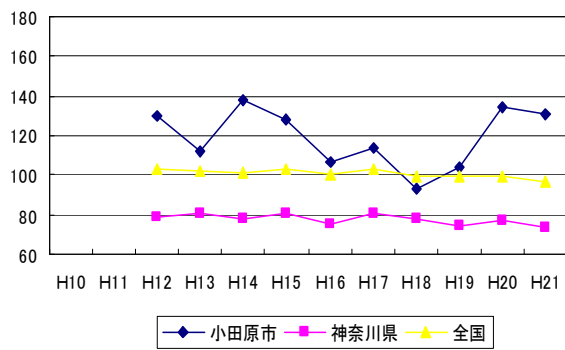
乳がんは、県よりやや低い状態で同じように推移していますが、子宮がんについては、ばらつきがありますが、高く推移しています。

イ 脳血管疾患

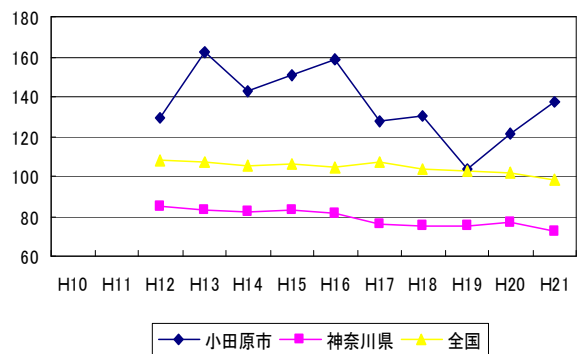
① 脳血管疾患死亡率(総数)



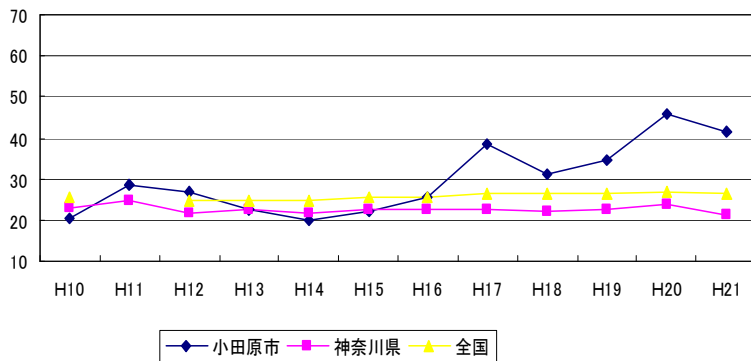
② 脳血管疾患死亡率(男)



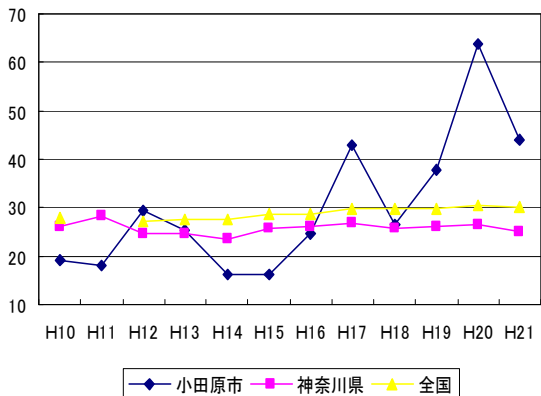
③ 脳血管疾患死亡率(女)



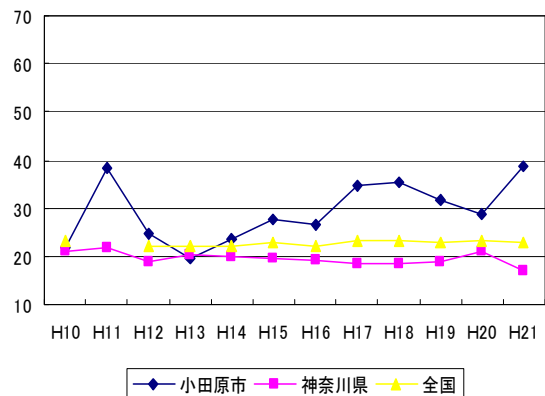
④ 脳出血死亡率(総数)



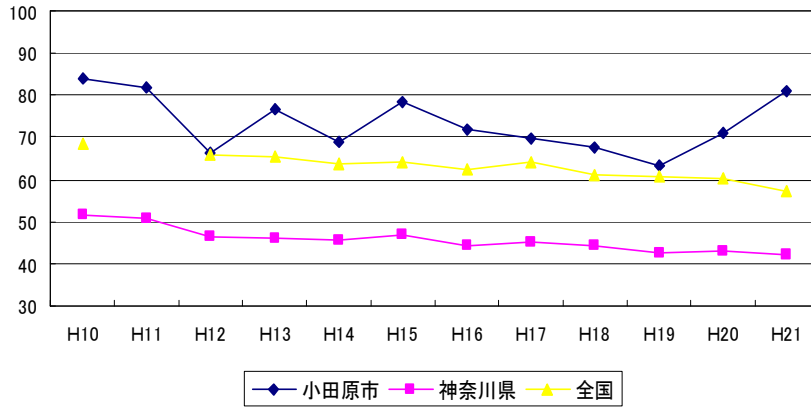
⑤ 脳出血死亡率(男)



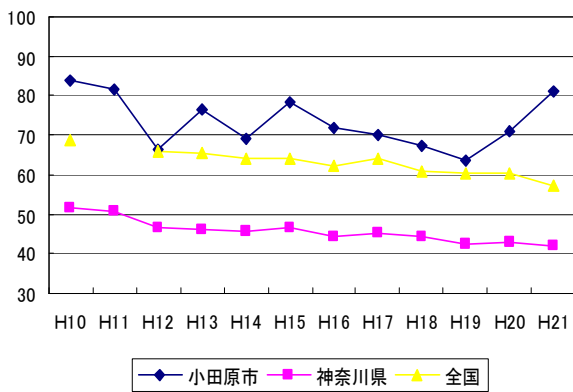
⑥ 脳出血死亡率(女)



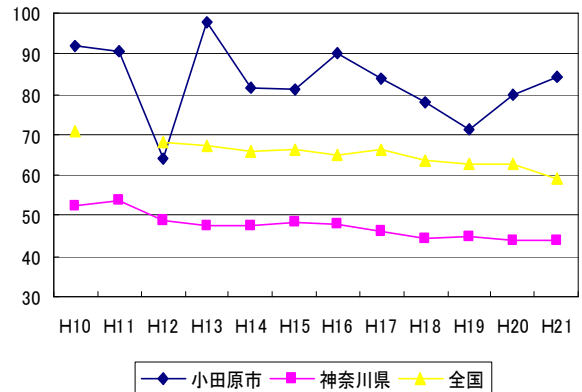
⑦ 脳梗塞死亡率(総数)



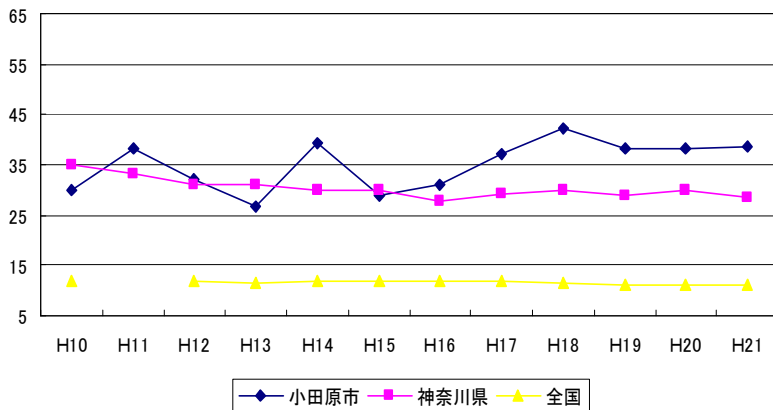
⑧ 脳梗塞死亡率(男)



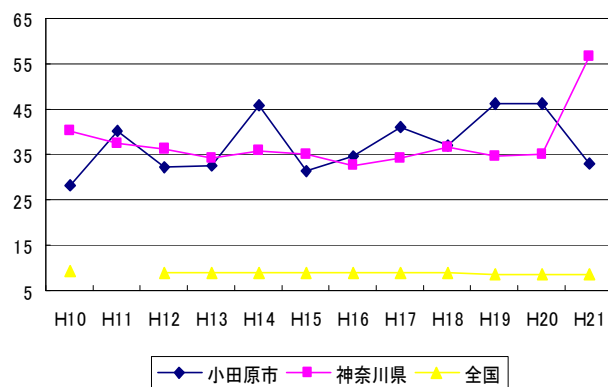
⑨ 脳梗塞死亡率(女)



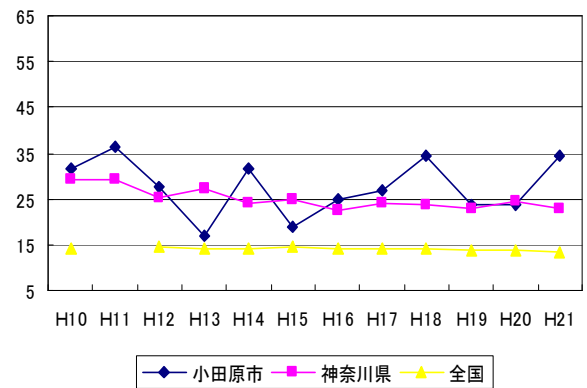
⑩ くも膜下出血死亡率(総数)



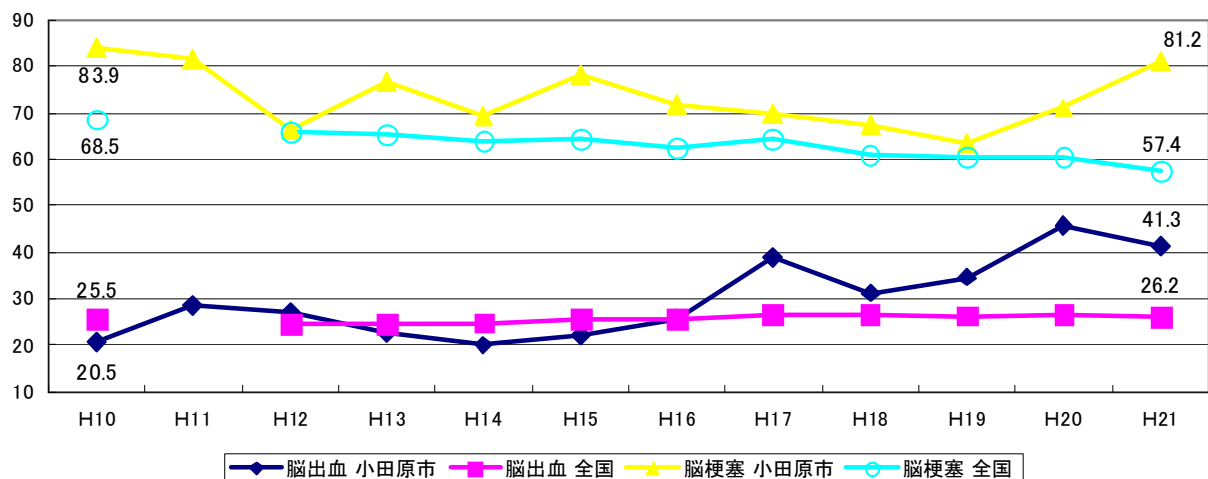
⑪ くも膜下出血死亡率(男)



⑫ くも膜下出血死亡率(女)



⑬ 脳出血・脳梗塞死亡率の国との比較

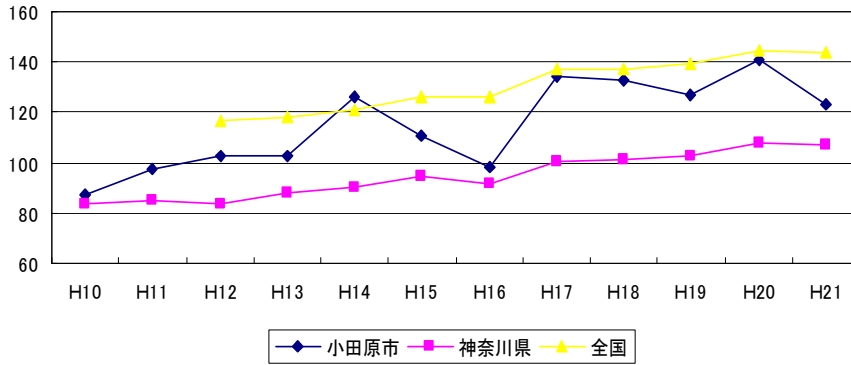


小田原市の脳血管疾患の死亡率は、平成 21 年には、心疾患より多く、小田原市の死因の第 2 位になっているとともに、死亡総数の 14.8%を占め、全国より高い割合になっています。死亡率は、全国は、横ばい状態ですが、小田原市は平成 19 年より、増加傾向にあり、常に全国・県より高い状態です。

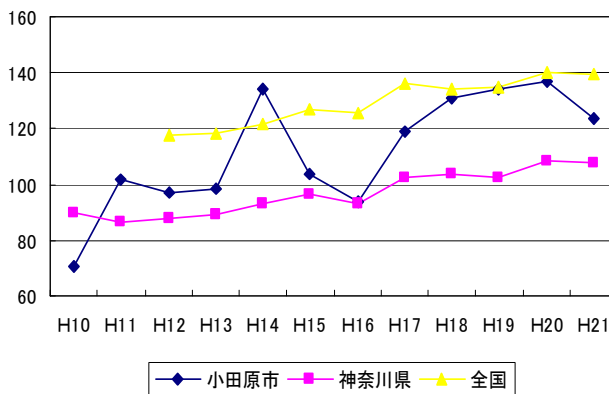
また、県内 19 市と比較すると、平成 19 年よりワースト 1 になっています。脳血管疾患のうち、脳出血及び脳梗塞は、全国・県より高い状況にあります。経年でみても、脳出血は、平成 10 年頃は、全国・県と同等の死亡率でしたが、平成 16 年頃より、上昇傾向になっています。特に男性は上昇率が高いです。脳梗塞は、平成 10 年から 19 年までは斬減傾向でしたが、平成 20、21 年と増加傾向になっています。

ウ 心疾患

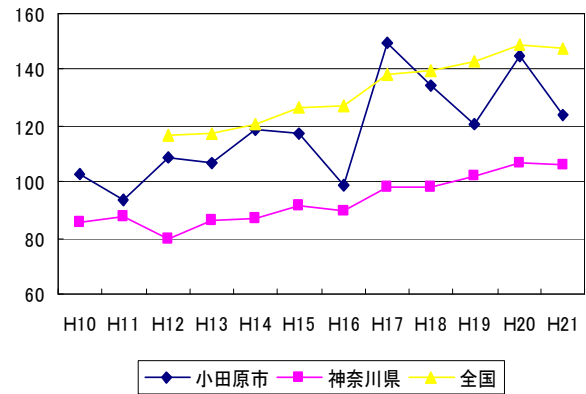
① 心疾患死亡率(総数)



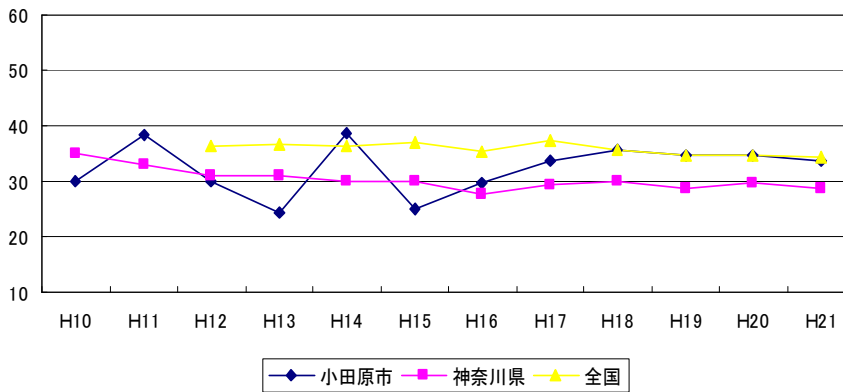
② 心疾患死亡率(男)



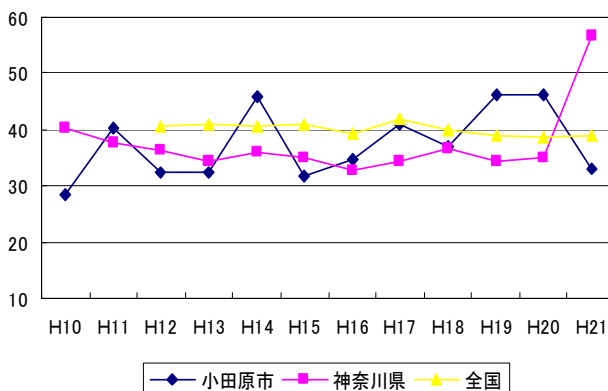
③ 心疾患死亡率(女)



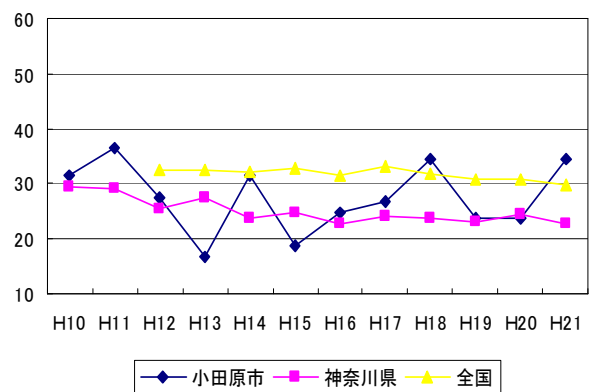
④ 急性心筋梗塞死亡率(総数)



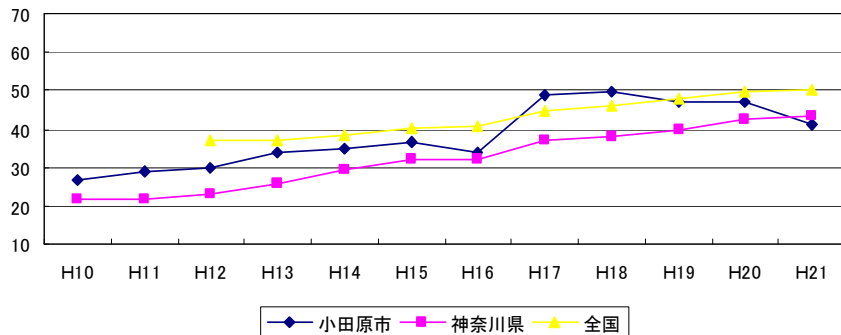
⑤ 急性心筋梗塞死亡率(男)



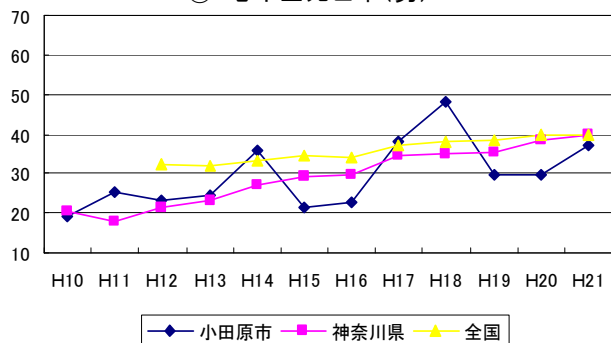
⑥ 急性心筋梗塞死亡率(女)



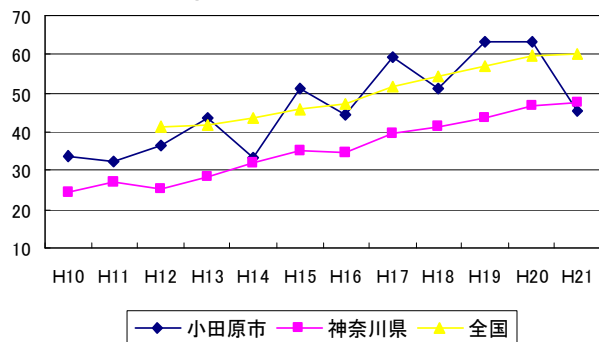
⑦ 心不全死亡率(総数)



⑧ 心不全死亡率(男)



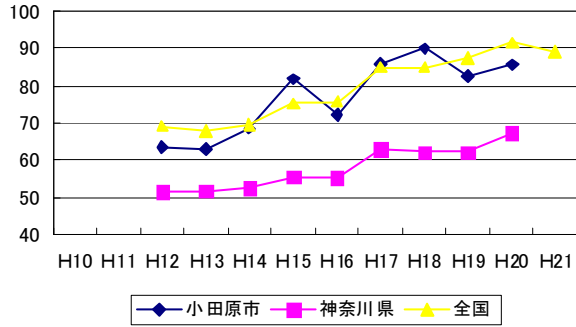
⑨ 心不全死亡率(女)



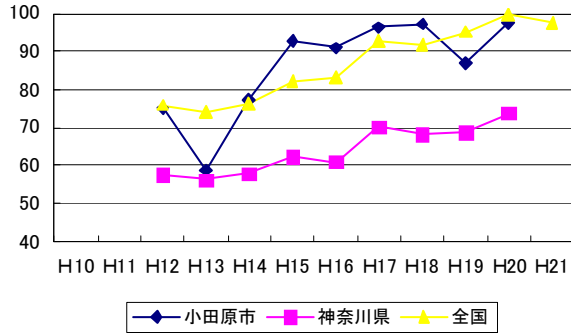
心疾患の死亡数は、死亡総数は13.6%で、全国より低い割合です。また、経年的に見ると全国より低い値で推移しています。

エ その他の疾患

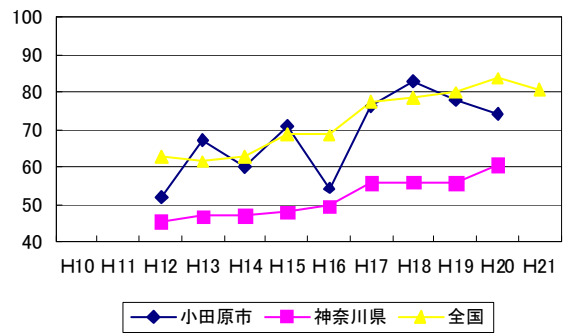
① 肺炎死亡率(総数)



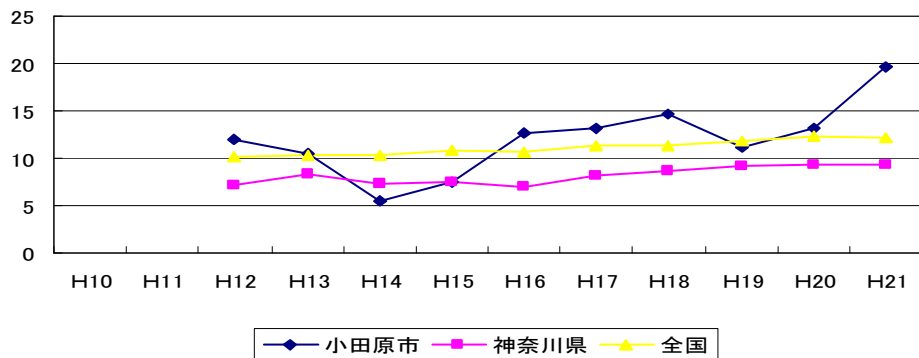
② 肺炎死亡率(男)



③ 肺炎死亡率(女)

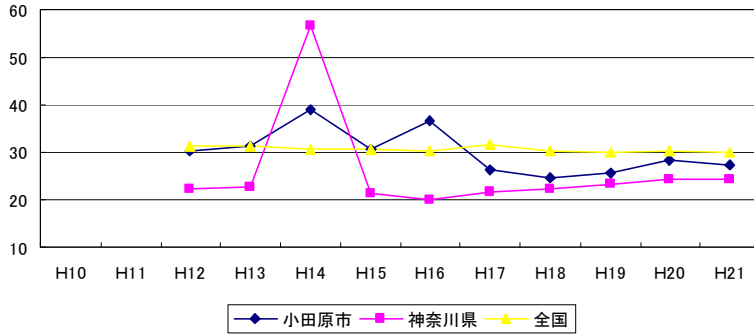


④慢性閉塞性肺疾患 死亡率

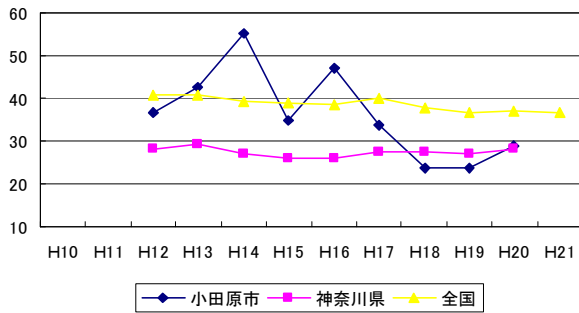


肺炎は、全国と同じような経過で推移しています。また、同じ呼吸器疾患で慢性閉塞性肺疾患は、死因の割合でも、第9位（p5参照）で、経年でも全国より高い状態で推移しています。

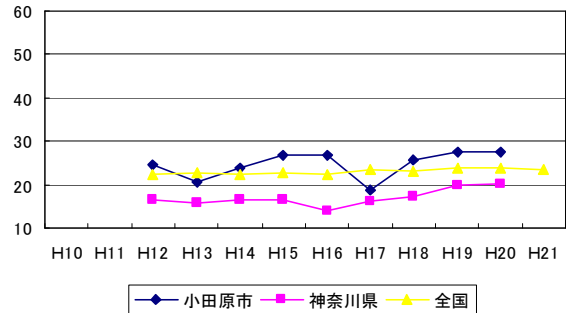
⑤ 不慮の事故死亡率(総数)



⑥ 不慮の事故死亡率(男)

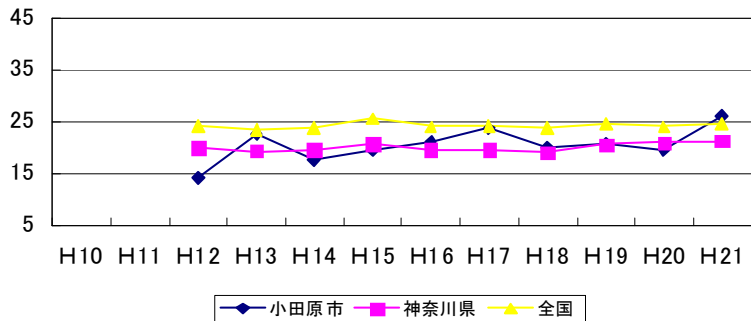


⑦ 不慮の事故死亡率(女)

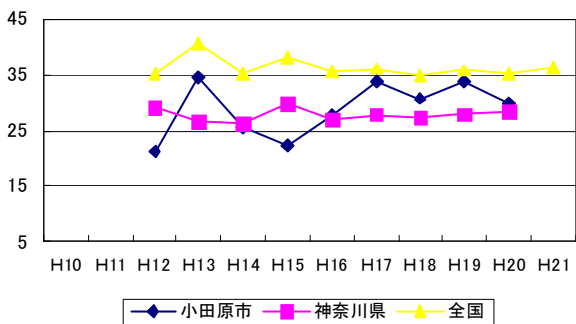


小田原市の死因5位の不慮の事故は、経年推移を見ると全国より低い状態です。

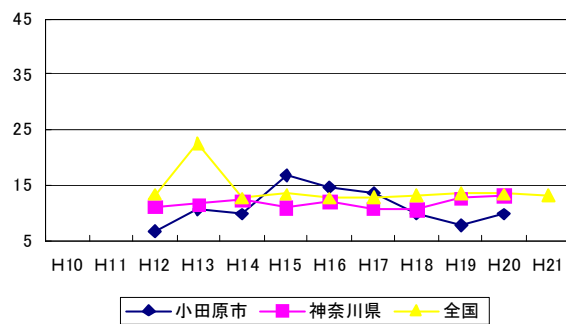
⑧ 自殺死亡率(総数)



⑨ 自殺死亡率(男)

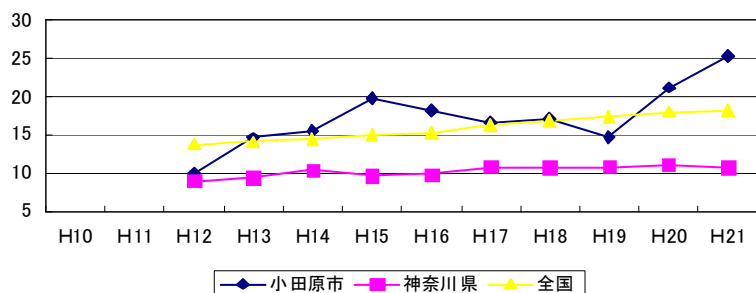


⑩ 自殺死亡率(女)

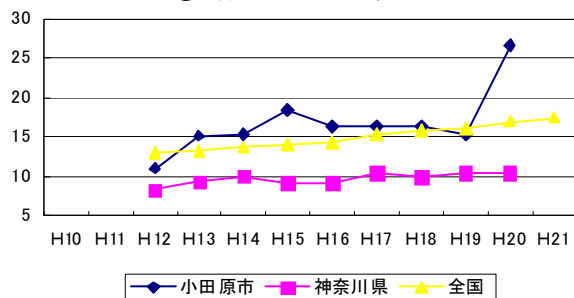


小田原市の死因6位(p5参照)の自殺の死亡率は、平成21年が25.2と全国・県より高いですが、それまでは全国より低い状態で推移しています。

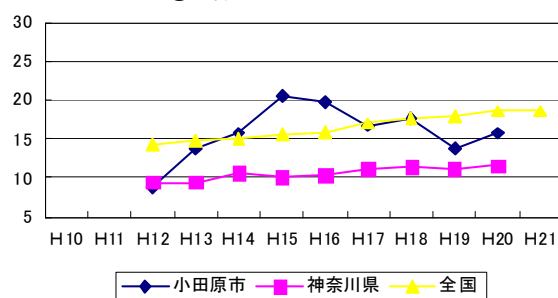
⑪ 腎不全死亡率(総数)



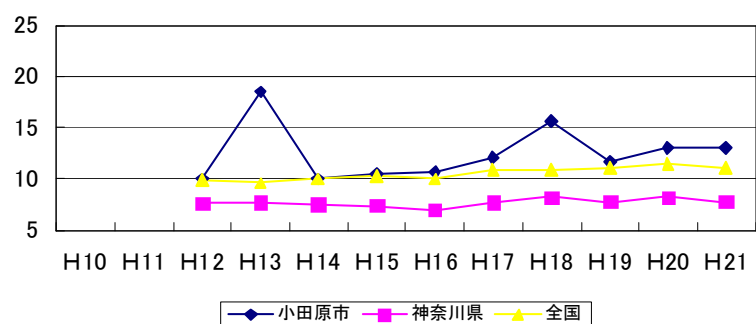
⑫ 腎不全死亡率(男)



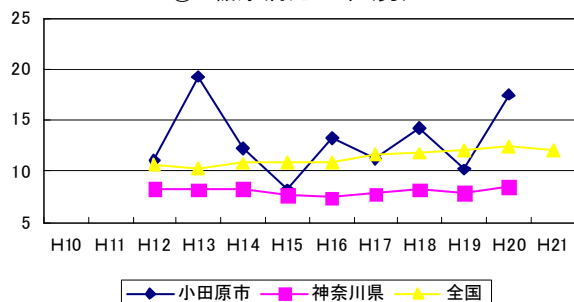
⑬ 腎不全死亡率(女)



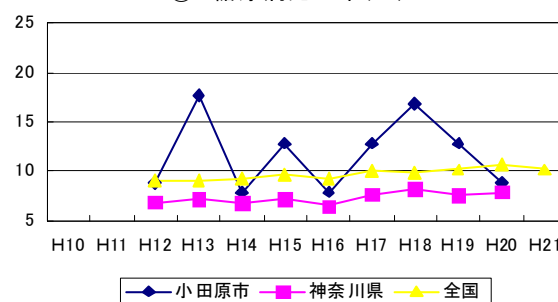
⑭ 糖尿病(総数)



⑮ 糖尿病死亡率(男)

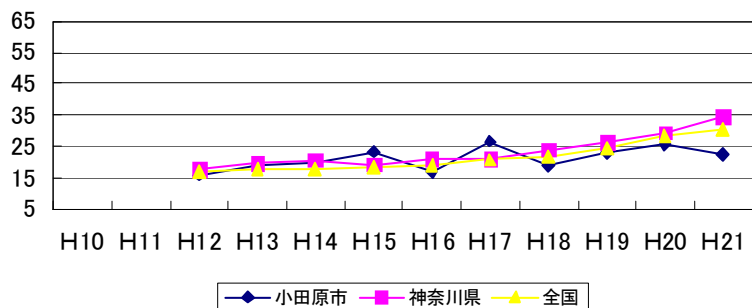


⑯ 糖尿病死亡率(女)

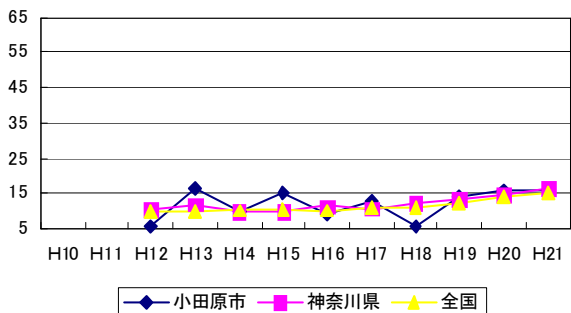


小田原市の死因6位の腎不全は、以前より全国・県より高い状態で推移しています。また、それに関連するであろう、糖尿病の死亡率は、経年的に、全国・県と比較すると高く推移しています。また、全国・県での糖尿病の死亡率順位は10位以内に入っていませんが、小田原市では死因の10位です。

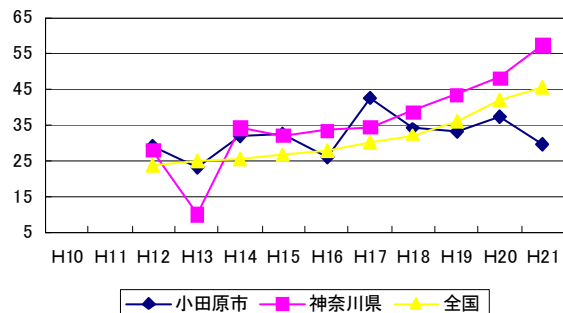
⑰ 老衰死亡率(総数)



⑱ 老衰死亡率(男)

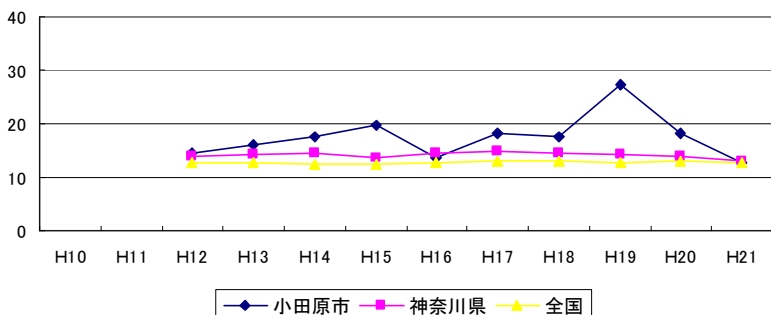


⑲ 老衰死亡率(女)

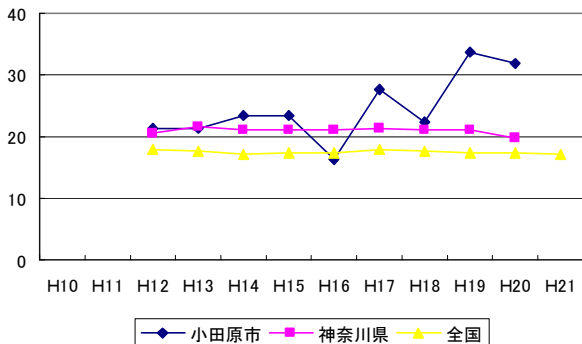


小田原市の死因 8 位の老衰は、平成 12 年頃は、全国・県と同じくらいでしたが、やや少なくなっています。全国・県は増加傾向なので、少しずつ開きがでてきます。特に女性は、全国・県においては、急激に増加しているため、その開きは大きくなっています。

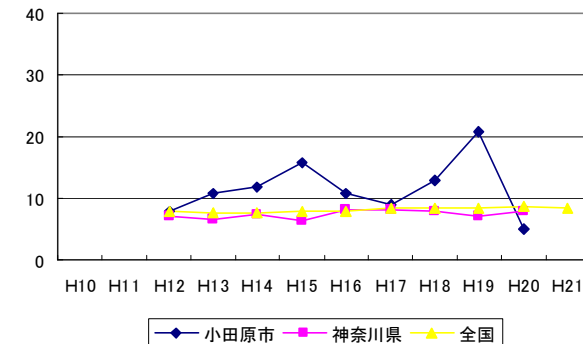
⑳ 肝疾患死亡率(総数)



21 肝疾患死亡率(男)



22 肝疾患死亡率(女)



肝疾患は、以前より、全国・県より高めに推移しています。年によりばらつきがあり、平成 21 年は、全国・県より低いです。

4 まとめ

保健福祉水準の総合的指標として広く活用している平均寿命が県下で低い位置となっています。さらに、年齢調整死亡率も常に上位となっています。

死因としては、全国・県と比較すると、脳血管疾患、腎不全、糖尿病が多く、最近注目を集めている慢性閉塞性肺疾患も多いです。

反対に、高齢者の死亡原因は、全国・県は老衰による死亡者が増加していますが、小田原市は横ばいから減少傾向にあります。

このことから、小田原市としては、生活習慣を改善して健康を増進し、生活習慣病を予防すると共に、健康診断等で疾病の早期発見、早期治療を行い、疾病発症後は必要な治療を受け、機能の維持及び回復を図ることが必要です。